

## 札幌市の森林活動登録団体として承認される

7月8日づけで森林活動登録団体として承認通知が発行されました（札幌保 586号）。活動場所は当協会希望どおりの有明第二都市環境緑地と澄川都市環境緑地の2ヶ所です。市に提示した作業計画は次の通りです。

## 有明第二都市環境緑地 保護・育成 作業計画

面積：14ha

現状林況；落葉広葉樹林

伐後40～50年経過とみられる二次林。放置されての年月が長く、大径木もある。主林木はシラカバ、ミズナラ。北海道産の主な落葉広葉樹があり、樹種豊富。林床はクマザサで中密度。

カラマツ人工林

植林したまま手入れされなかった模様で、野鼠等による食害で90%以上が消滅。シラカバが優占する広葉樹林にカラマツの残存樹が散見される。ほとんど落葉広葉樹林と同じあつかいとす。

トドマツ人工林

優勢樹は胸高直径30～40cm。劣勢樹は殆ど立ち枯れている。立ち枯れによる日照があることで、林床の天然更新活発。クマザサやや疎。

保護・育林の方針

全体方針；[キーワード] 森林機能をもつ森作り（人と野生動物との共生）

全体を都市環境緑地にふさわしい健全な森林に誘導する。有明小学校の裏山でもあり、学童の自然教育の場とし、育林施業にも参加してもらおう。さらに除伐材による木炭づくり、木製品づくり。樹木表示プレート作り等々。

落葉広葉樹林→北海道自生種の学習林

適正な除伐をする。林内に周回歩道をつくり、学童が樹木に手を触れることができるようにする。樹木に樹種名と主な用途を記したプレートをとりにつける。つる性植物は一部を残し、草類にも出来るだけ和名を掲示する。キノコや苔類にまで記名してみたい。昆虫類、鳥類をも含め、すべての生き物に児童が関心を示すような工夫をしたい。実物が目にとまりにくい鳥や昆虫、発現時期が短いキノコなどカービングによる模型を子供たちと一緒に作り、林内に配置したりすれば、教育効果が高まる。

トドマツ人工林→針広混交の育成複層林への誘導

毎木調査をし、生樹、枯樹ともに本数・材積を把握する。立ち枯れ樹の除去と間伐をして、優勢樹を健全に育てる。林床に成育しつつある広葉樹の成育を促進し、徐々に針広混交林へと誘導する。伐倒枯樹は適当に玉切して歩道に敷くとか、チップーにかけて林地肥培のため林内に散布する。

作業計画

歩道ルート上の標識樹木の選抜（初年度）

標識樹をたどるルートの下草刈り（毎年実施）

広葉樹の除伐、トドマツ林の間伐（初年度～5年度）

人工林全樹の計測（胸高直径、樹高）

除伐・間伐樹の選抜

作業実施

標識、標本等の製作（2年度）

標識、標本等のとりつけ（2年度）

初年度

	7	8	9	10	11	12	1	2	3月
人工林の毎木調査	○								
間伐樹の選抜	○○○								○○○
伐採		○○○	○○○	○○○	○○○				
造材			○○○	○○○	○○○	○			
集材					○○○	○			
材積計算(検収)			○	○	○	○			
標識樹の選抜							○○○	○○○	
年度報告書作成									○○○

2年度

	4	5	6	7	8	9	10	11	12月
除伐樹の選抜	○○○								
伐採		○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	
造材			○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	
集材				○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	
材積計算(検収)				○	○	○	○	○	
標識、標本等の製作		○○○	○○○	○○○	○○○				
標識、標本等のとりつけ							○○○	○○○	
年度報告書作成									年度末

澄川都市環境緑地 保護・育成 作業計画

現況林相：落葉広葉樹林

伐後30年程度の萌芽林。自然放置により株立ち過密。主要樹種はミズナラ。札幌在来の樹種はほとんどある。林床はクマザサで疎。林内に原始的な炭焼き跡の凹み多数あり。谷部は比較的大径木多い。イグサ等湿性草本繁茂。

保護・育林の方針：[キーワード] 森の中での物づくり(椎茸と木炭の生産)

萌芽林の持続可能な森林経営(森林の公益的機能の維持と資源の利用)

1株1本程度を残すかなり強度の除伐をする。

ミズナラはシイタケのほだ木としてほど良い太さなので林内で椎茸を生産。

その他は現地で炭焼き体験。薪ストーブの燃料等に活用する。

作業計画

面積が狭いので、作業道は必要だが、歩道としては残さない。

椎茸生産作業実施

現地製炭は場合によってはそのまま埋め殺して土壌浄化機能をもたせる。

初年度

	7	8	9	10	11	12	1	2	3月
除伐樹の選抜	○○○								○○○
伐採		○○○	○○○	○○○	○○○				
造材			○○○	○○○	○○○	○			
集材					○○○	○			
材積計算(検収)			○	○	○	○			
年度報告書作成									○○○

2年度

	4	5	6	7	8	9	10	11	12月
除伐樹の選抜	○○○								
伐採		○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	
造材			○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	
集材				○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	
材積計算(検収)				○	○	○	○	○	
椎茸&木炭生産	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	
年度報告書作成									○○○

## いよいよ作業実施 間伐・除伐樹の調査と伐倒作業 (雨天中止)

有明第二 ドドマツ人工林の毎木調査 8月5日(月) 8月10日(土)  
ドドマツ人工林の間伐 9月11日(水)～9月14日(土)の4日間  
集合場所：福住バスターミナル前(国道36号線) 9:30

澄川 標準地調査(20m×20m)×2ヶ所 9月2日(月) 9月7日(土)  
広葉樹萌芽林の除伐 10月9日(水)～10月12日(土)の4日間  
集合場所：地下鉄真駒内駅前 9:30

※同封の申込み用紙でFAXもしくは祖および郵送で事務局まで。

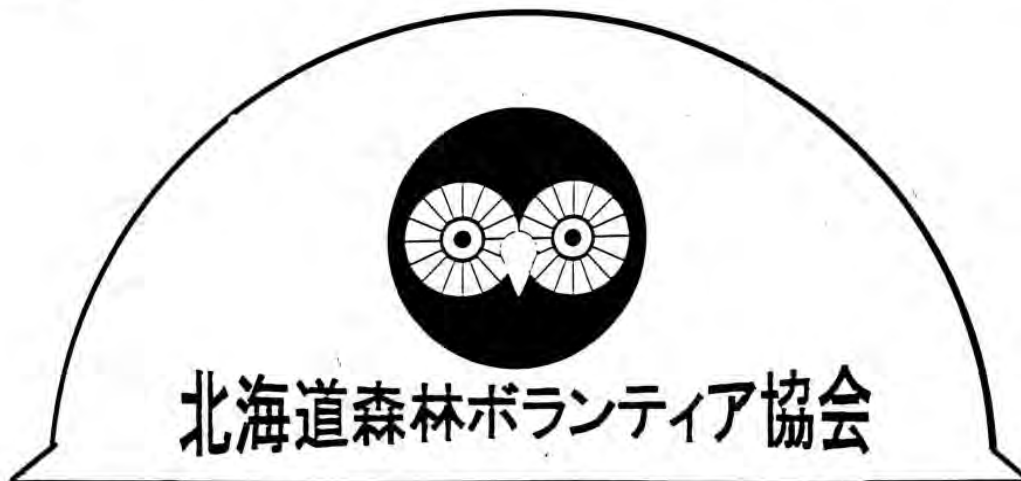
## お願い

作業の安全を確保する道具で最も大切な頭部を保護するヘルメットですが、各自専用のものを所持することにします。協会名とシンボルマークを印刷し、個人名(自己記入)を記入して身分証明の機能をもたせませす。1ヶ2000円見当です。一旦は各自で負担して下さい。申請している助成金が下りましたら、半額もしくは全額をお返します。

## ヘルメットマークのデザイン

北海道の鳥、エゾフクロウの幼鳥の顔をマーク化しました。“森の守り神”として大切にされている鳥に負けない愛林精神を持ちつづけましょう。

ヘルメットは緑の反対色、森の中で目立つ濃い黄色。マークおよび文字は濃いグリーンといたします。



## 次回 幹事会および総会 9月19日に開催

幹事会は毎月第二火曜日と決めましたが、8月の第二火曜日は13日でお盆のど真ん中なので変更します。次回は9月19日、実際活動に入りましたので幹事会の後同日に会員総会を行います。会場はかでの2・7の予定です。詳細は次号にてお知らせします。

## 助成金申請報告

助成金を以下の3件申請しました。実績の無い弱みがありますが、幸運を祈りましょう。

- ①財国土緑化推進機構「地球温暖化防止の森づくりボランティア活動支援事業」30万円
- ②財日野自動車グリーンファンド助成金 30万円
- ③北海道ろうきん社会貢献助成制度 30万円